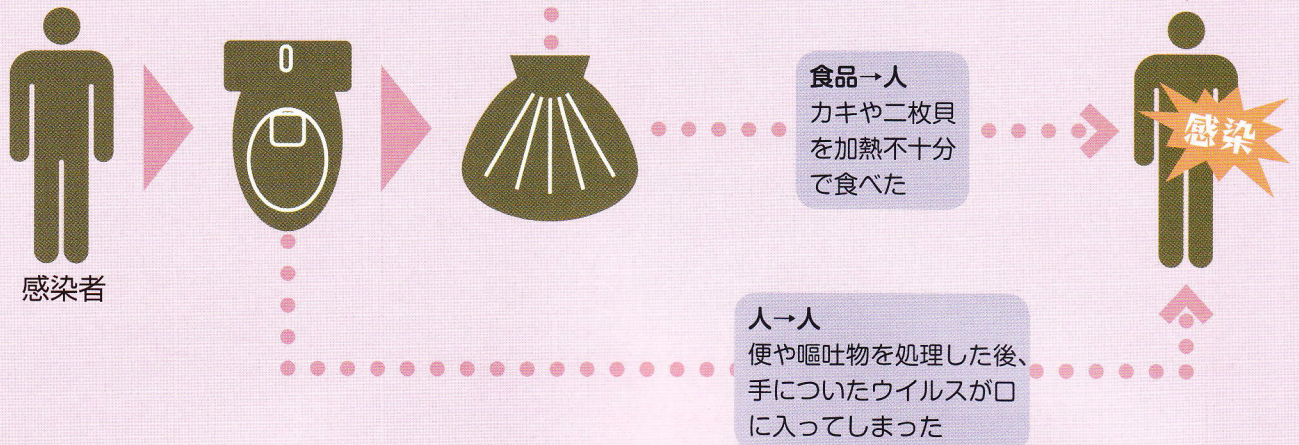


3パターンある 感染経路



ノロウイルスの基本 4 症状

主な症状は、嘔吐と下痢です。感染から1～2日でこうした症状があらわれ、人によっては38度程度の発熱や腹痛を伴うこともあります。通常は3日ほどで回復し後遺症ありませんが、高齢者や乳幼児は嘔吐物を気管につまらせたり、下痢による脱水症状がひどくあらわれることもあるので、注意が必要です。

また、感染しても全員が発病するわけではなく、軽いかぜ症状ですむ人もいます。このようなケースでもウイルスの排せつは少なくとも1週間程度続きますので、調理師の方や介護施設にお勤めの方、医療従事者などは、「体調が少しおかしい」程度であっても、用心しましょう。

ノロウイルスの基本 5 治療

今のところノロウイルス自体に効く薬はなく、水分補給で脱水症状を防ぐなどの対症療法で状態の回復を待つしかありません。ひどい下痢症状が続いたとしても、安易に下痢止めを飲んでしまうと体の中にウイルスを留め、病気の回復を遅らせることがあるので、自己判断での服用は避けた方がいいでしょう。

5つの基本は
理解できましたか？

次のキーワードは

『予防対策』と

『感染拡大防止対策』

です。すべてをマスターし、
ノロウイルスの流行時期を
乗り切りましょう。

